

サイエンスショップ (Science Shop)

- サイエンスショップとは、科学者が市民社会の要求をベースに研究・開発を行うことを促進するための組織である。
- 一般に、大学の付属組織として設置されるか、NPOの形態がとられる。
- 他の市民やNPOからの研究課題の提示を受け、それを適切な専門家にマッチングすることが主要な業務となる。
- 企業からの委託研究との違いは、非営利組織の形態がとられることで、一般市民やNPOのようなクライアントから人件費・研究費は徴収しない。

Table 1: Theoretical clustering of science shops (Mulder et al. 2001)

HOST MODEL	University based		Mixed		Non-university based		
	Dutch Model	US Model	University-based and independent	NGO as incubator	NGO (Univ. related)	NGO (Non-univ. related)	
LOCALE:	Central Office	Faculty Office	CBR Centres	CURA (Community-University Research Alliance)			
COUNTRIES:	Netherlands Denmark Germany Austria UK (Norway) USA/Canada Australia South Korea Malaysia	Netherlands Denmark Romania South-Africa USA/Canada	USA Denmark (Canada)	Canada	Ireland	(Germany) Austria USA	Germany Austria USA
MODE:	Mediation Some Internships	Research Mediation	Participatory action research (PAR)	Participatory research	Mediation	Mediation Research Some Participatory Some Participatory	

HOST = placement of science shop; MODEL = European/Dutch or US-Canadian concept; LOCALE = organisational unit of science shop; COUNTRIES = countries covered in report; MODE = methodology employed by science shop.

Table 1: Research Requests

Requests	Yes
Community/Voluntary Groups	95%
Trade Unions	55%
Religious Groups	48%
Environmental Groups	64%
Political Parties	35%
Community Business	32%
Small Business	32%
Individuals	48%
Local/Regional Authorities	62%
Police	26%
Schools/School Pupils	51%
Health Authorities	55%

Figure 3 illustrates that research topics are generated mainly from both within the science shop and from groups (63%, n=35).

- 学生によるマグネシウム製造工場のフィージビリティ研究。民間のコンサルティング会社の大きな雇用創出につながるという評価を逆転。
- 農民グループの有機農法への事業転換を支援。
- 史跡にもなっている教会の修復と基金収集プログラム。工学的な問題だけではなく、環境アセスメントから工事に関わる法的な問題まで包括的に調査。
- モンドリアン美術館と協力して、モンドリアンの作品がマンガに使われている事例を収集。博物館展示に。
- 聾啞学校と共同で子どもむけオランダ語手話の教材開発（それまでオランダには適当な教材がなかった）
- 市民から妊娠に関する多くの質問が寄せられたのを集約。学生の博士論文に。
- 甲状腺機能低下についての症例のリスト化。医学的に未知の症例を数多く含むリストが作成される。

米ノース・カロライナ)
 ・アフリカ系アメリカ人が多数を占める地区での工場廃棄物の影響調査。農民、政府機関、ノース・カロライナ犬との共同プロジェクト
 米カリフォルニア)
 ・18のインディアン権利団体と共同でインディアンの喫煙率と疫学調査。禁煙プログラムの策定。
 米ペンシルヴァニア)
 ・学生を動員して、全州3,000ヶ所で水質調査
 米フロリダ)
 ・行政サービスの「公平さ指標」の作成。保安官の巡回経路を変更。

Figure 4. Estimated Per Capita Expenditure in U.S. Cents (ca. 1995)

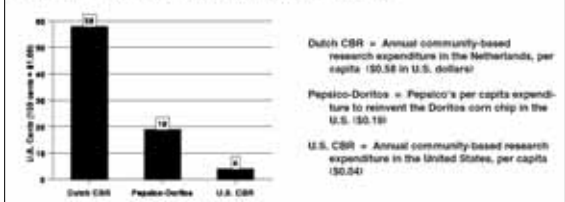


Figure 10: Total Annual Budget

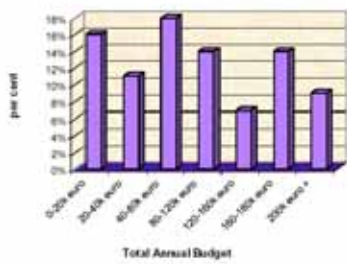


Figure 11: Sources of Funding

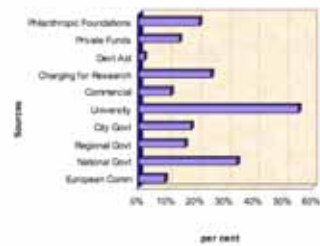


Table 8: Breakdown of Staffing

% Paid Staff		% Female Staff		% Male Staff	
Number of Staff	%	Number of Staff	%	Number of Staff	%
0	4	0	7	0	25
1	5	1	20	1	30
2	21	2	21	2	5
3	14	3	12	3	11
4	11	4	18	4	7
5	13	5	4	5	4
6	9	6	2	6	0
7	2	7	0	7	0
8	2	8	0	8	0
9	9	9	11	9	11
10+	11	10+	6	10+	8

各国の状況

- サイエンスショップは主にオランダを中心としたヨーロッパで70年代以降発達した方法論で、現在でもイギリスとオランダで盛んであるが、近年ヨーロッパ全体に広がりつつある。
- アメリカではコミュニティ・ベース・リサーチとして独自に同種の方法論が発達した。
- 日本でも京大を始めとして一部の大学で同様の試みが行われていたが、現在は途絶えてしまっている。